



杉原寛信使徒座管理区長認可発行所 福岡司教区本部 福岡市中央区浄水通6-28 発行 人カトリック福岡司教区 編集人 下町豊重 TEL 092-522-4059 FAX 092-523-2152 振替口座 01760-6-20729 カトリック福岡司教区 定価 一部70円

8・9月の意向 教皇様の意向のために祈りましょよ 【福音宣教】(8月) 家庭、人間的成長の学び舎 【世界共通】(9月) 海洋の保全 【日本の教会】(8月) 平和への決意 (9月) すべての被造物の尊重

「福音宣教のための特別月間」(2019年10月)に向けて ともに喜びをもって福音を伝える

2017年、教皇フランシスコは2019年10月を「福音宣教のための特別月間」とすることを発表された。教皇ベネディクト15世が「諸国民への宣教」を強調した使徒的書簡「マキシムム・イルド」発布100周年にあたる今年10月を機に全信者が改めて福音宣教について考え、実践するよう教皇フランシスコは呼びかけている。

福岡教区の今年の目標「信じる喜びから伝える喜びへ」もこの特別月間に応える形で設定されたものだ。教区生活聖化委員会(委員長A・トウルコ神父/聖ザベリオ宣教会)は年度初めにポスターを作成し、写真、教区内に配布した(福岡教区ハンドブックにも掲載)。中央の円形の



福岡教区生活聖化委員会作成のポスター 教区ハンドブックに掲載されている

ハンセン病に関わる 日本カトリック司教団の謝罪声明

7月8日～10日に開催された日本カトリック司教協議会の臨時司教総会にて、日本カトリック司教団はハンセン病に関する謝罪を司教団名で発表することを承認し、「ハンセン病に関わる日本カトリック司教団の謝罪声明」として発表した(日本カトリック中央協議会のウェブサイトで全文掲載)。

声明は、ハンセン病回復者、及び家族、またすでに亡くなられた方々へ宛てたもので、日本の司教団が、国策に対して反対せずに、「当事者の権利を守る視点に立てなかった」責任を認め、謝罪する内容となっている。また、今後同じ過ちを繰り返さないことを誓う、と述べている。教区内では、来る8月8日(木)に、カトリック大名町教会を会場に学習会「ハンセン病家族訴訟から学ぶ」(主催＝ハンセン病家族訴訟を支える市民の会福岡)が下記の通り開催される。主催者は「差別の歴史を過去のものにするために『これから』を一緒に考えてみませんか」と呼びかけている。

学習会「ハンセン病家族訴訟から学ぶ」 入場無料 日時: 8月8日(木) 18時～19時50分(開場17時半) 場所: カトリック大名町教会(福岡市中央区大名2-7-7)

[福音宣教のための特別月間のために] ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り

喜びの源である神よ、あなたは、御子キリストを遣わし、その受難と復活を通して、救いに導く喜びの福音をこの世にもたらしてくださいました。また、あなたは、キリストの後に従う働き手を通して、諸国の民に福音を告げ知らせ、どんな逆境にあっても、キリストを信じる人々の喜びを支えてくださいました。さまざまな困難に直面している現代社会の中で、人々の救いに奉仕する教会を顧みてください。キリストの救いの喜びを新たな熱意、手段、表現をもって伝えることができるよう、わたしたちを聖霊によって強めてください。わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(「ともに喜びをもって福音を伝える教会へ『福音宣教のための特別月間』(2019年10月)に向けての司教団の呼びかけ」2019年3月17日より)

9月号は休刊です。

- ①福音宣教をする教会の魂 「ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り」(左図参照)をもって、福音宣教をする教会の魂である聖霊に祈り、宣教活動を支える。 ②イエスと出会い、共に歩んでいく。ミサやみことばを通して、福音宣教の第一の動機であるイエスとの人格的な出会いの恵みを大切に。そして出向いて社会の福音化

- ③福音宣教の魂 「ともに喜びをもって福音を伝えるための祈り」(左図参照)をもって、福音宣教をする教会の魂である聖霊に祈り、宣教活動を支える。 ④イエスと出会い、共に歩んでいく。ミサやみことばを通して、福音宣教の第一の動機であるイエスとの人格的な出会いの恵みを大切に。そして出向いて社会の福音化

時の話題

復活されたイエスはどこに

キリスト信者の信仰の中心である復活されたイエスはどこにおられるのかと時に考える。もちろん、ご聖体の形で生きておられる。それと同じように、イエスご自身の言葉にあるように、隣人の姿、とりわけ苦悩する人間の姿を取って、ごく身近な所におられるのではないかと。そんな人々の姿に共鳴し行動していく時、背負われる苦と失望に満ちたドロドロとしたあざ道を、彼らの生身の

筑後地区信徒研修会 ユースト高山右近 列福から列聖へ



今村教会で講演を行った前田枢機卿

7月7日(日)、今村教会聖堂において筑後地区信徒研修会が筑後地区宣教師評議会(会長 竹森勇神父)主催で開催された。講師には前田万葉枢機卿(大阪教区)を招き「ユースト高山右近 列福から列聖へ」と題した講演が行われた。 前田枢機卿は冒頭で教皇ベネディクト16世による聖人の解釈を説明し、「信仰の模範として教会が太鼓判を押した人、その人を身近に感じ、模範として仰ぎ、その人に祈って欲しいという望みが、神の民の中に高まって初めて、列聖が実現する」と話した。 また、「一人には皆、一人ひとり、固有の使命が備えられています。それを探さなければなりません。都合の良いように使命を作るのではなく、神のみ旨を探すのです。自分らしい仕方でのキリストの死と復活の神秘に自分自身を結びつけます。自分自身の生き方

なみちき

学校関係は夏休み。この頃になると故郷が恋しくなる。少年時代には、家から20メートル離れた港で毎日のように監視人を呼んで泳いでいた。寄港していた大型船の高い所から競争して飛び込みもした。休憩時には岩陰に潜むミナ(貝の一種)を捕ったりしていた。また、近くの山に登り、野イチゴを取って白いシャツを赤くしたり、グミを取って食べたりの思い出。もちろん漁を終えて帰ってきた船の掃除をしたり、翌日の漁の準備をしたりして家の手伝いも欠くことはなかった。きれいな海と山に囲まれた夏の思い出が潮の香りと一緒にやって来るこの頃である。隣の町出身の先輩神父は山と畑を見ると故郷を思い出すと。先輩神父の少年時代の夏は稲刈りの日々だったという。機械ではなく長時間の作業だった。出来上がったものを歩いて30分ほど離れた家に人力で数回運んだ。体中の痛みもいまだに記憶しているという話である。山や田畑に目をやると、懐かしい故郷が思い出され、春夏秋冬の風景が目に見え、春の風が頬を撫で、今も何となくお世話してくださる先輩と学びながら歩む後輩のそれぞれの生い立ちや家庭環境、思い出は異なるが、今を生きる目的は同じ「キリストの生き様」であることに心から感謝したい。この夏も、「キリストのように」生きようとする人を神が見守ってくださる。宣教師の祈りを味わわせてくださるように願いたい。海の幸、山の幸を味わうように、永遠の幸の喜びを少しでも。(S)

教区信徒養成プログラム1年目が熊本で大人の学習法を用い気づきを促す

福岡教区信徒養成委員会（委員長レナト・フィリッピ 二神父）が、ザベリオ宣教会が新しい信徒養成プログラム（3年間全9回）を作成、初年度のプログラムが2019年4月7月に3回、熊本地区で実施された。今後、地区ごとに順次開催していく予定だ。

「私が宣教するなんてとんでもない」「信仰って養成が必要でしょうか」。参加者の多くが戸惑いながら、初回のプログラムに集った。

今回作成された信徒養成プログラムは特定の奉仕者やカテキスタの養成ではなく、社会の中で暮らす信者がすでに持っている経験・能力・可能性を活かし、それぞれの置か

れた場所で宣教司牧に貢献し、実践していくことを目指している。（左図参照）

プログラムはレナト神父（玉名・荒尾教会主任）と平尾千衣子氏（笹丘教会信徒）が担当。ローマの教皇庁立サレジオ大学で「信仰教育」（特に大人の学習法）を学んだレナト神父と国内外で信徒養成の経験を持つ平尾氏が、発題

養成プログラムの概要

目的：信徒が生涯学習の一環として、能動的に学び、社会に生きるキリスト者として、また宣教するキリストの弟子として養成される。

方法：養成チームが地区に出前。単発の講話ではなく、同伴するという視点で、3年間（計9回）のプログラムを提供。能動的学習法およびワークショップ形式を用い、参加者の学びと学びからの実践をサポートする。また共同体としての学びと歩みも大切にする。

テーマ：
1年目 社会人である信仰者
2年目 聖書とみことば
3年目 典礼と体験、宣教と証し

対象：宣教するキリストの弟子として養成されることと望み、社会の中で生きる大人の信者。原則として3年間全日程参加できる方

信じる喜びから伝える喜びへ⑥ 心の清い人々は、幸い

『喜びに喜べ』83〜86

「心の清い人々は、幸いである、その人たちは神を見る」。イエス・キリストが語られる心の清い人々とは、真つ直ぐな心で神のみ旨を求め、人々のことを指しているのではないだろうか。

現代社会は、多様な価値観



使徒的勧告『喜びに喜べ』

と生き方に囲まれ、何を大切にすれば幸せな人生を送ることができるのか、見えずらいつ世の中になつていきます。日本の社会では名誉や地位というものが大切にされているため、その目的に向かい、日々身を粉にして働いている人々もおられることでしょう。けれども、ある日、身体を壊したり、会社が倒産したり、自分の人生の目標に到達することができず、立ち止まらざるを得なくなつたとき、私たち

はこの世界の名誉や地位というものが、いかに儂いものであるかを知らされます。これは、私たちの人生を飾ることに出来ても、人間が最も大切にすべき魂の望みを見失わせることもあるのです。「富は何の保証でもありません。それどころか、自分は富者だという思いを抱けばそれで満足してしまい、神のことばや、兄弟愛、人生における大切なことのための時間や場所がなくなつてしまいます」（『喜びに喜べ』68）。

私たちイエス・キリストの道とともに歩む兄弟姉妹が見失ってはならないのは、彼の生き様です。イエス・キリス

「福音宣教は、行いが正しく、熱心である人でなければ携わってはいけません」という「先入観」がありました。今は、これまでの信仰生活で経験したことや感じたことを伝えることが宣教につながるのでは



与えられた設問で分かち合いを深める参加者ら

者としてファシリテーターとして協働する形で進めている。ファシリテーターは発題の内容に沿って問いかけの内容を考え、参加者が振り返りやすい環境を整え、参加者に同伴する役目を務める。

1年目のテーマは「社会人である信仰者」。熊本地区内の県北地区と市内地区、9教会から24人が参加した。プログラムは日曜日の10時〜18時に手取教会で行われた。3つの発題とワークショップや分かち合いを通して学びを深める。各回終了時には「大人のドリル」が提供される。

「同じ小教区のメンバーと『イエスとわたし』とのテーマで分かち合った時、『私は気がついてはいないが、イエスは、良い時にも、悪い時にもそばに寄り添っていたのではないのか』という意見で一致したことはとても不思議なことでした。」

「違和感が残る部分もありますが、集い関わることで違和感を自覚し、そんな自分を

ないかと思ひ始めました。」

「信仰物語」を書くことにより、自分の歩みを振り返ることができました。3回目で学んだ「日常の振り返りと祈り」を実践し、ほんもののキリスト者として生きていけるようになりたいです。」

「コレジオ生養成の今後の課題」



ジョン・マカティー神父（聖アウグスチノ修道会）

発見することも体験しました。今回頂いたチャンス。学び、受け取り、意識して行動していきたく：変化を楽しみ、聖霊に導かれたいです。」

参加者の多くが、「自分の

中に変化があり、多くの気づきを得た」という。レナト神父は「これが『意識変容の学習』という私たちがプログラムに応用している大人の学習の理念なのです」と語る。

5月21日、米国ニューヨーク州ウオーターフォードの同修道会共同体で帰天。享年79。1940年同国フィラデルフィアに生まれ、66年ローマにて司祭叙階。67年来日、各地の小教区で司牧にあたった。83〜88年には長崎の聖マリア学院の理事長を務めた。89〜93年は福岡・笹丘教会の助任司祭と笹丘カトリック幼稚園の園長を務めた。93年に米国に帰国。竹を割ったような性格で、若いころは少し怖かったという声も。齢を重ね、徐々に穏やかな、笑顔の絶えない司祭になっていかれた。

6月30日（日）と7月1日（月）の2日間、カトリック長崎教会管区司祭志願院「福岡コレジオ」（院長 森山信三神父）にて、長崎教会管区（長崎・福岡・大分・鹿児島・那覇の5教区）の司教4人と各教区の司祭養成担当者、福岡コレジオの院長と副院長が集い会議を行った。「福岡コレジオ」は長崎教会管内の大学生・専門学校生の司祭志願院。現在5人が在籍している。

会議では、決算報告、一年間のプログラム・歩みの説明、養成に関する課題が話し合われた。今回は「福岡コレジオを福岡カトリック神学院の敷地内に移設するか」が最大の議題であった。このため、1日目は司教団と在籍生のみで

話し合いの場がもたれ、在籍生はそれぞれの思いを司教団に分ちあつた。判断は2日目の司教団と養成担当者の会議に委ねられた。

1日目の夜の「コレジオ祭」には、司祭、家族、コレジオ出身者など約30人が集まり、親睦を深めた。

在籍者の吉原祐則さん（長崎教区）は、2日目のミサでウエイン・バント司教（那覇教区）が述べた「苦しみを受けている人の下に降りていき、相手の痛みを自分の痛みとして考えて」との言葉が心に留まったという。

院長の森山神父は「今後の課題は、コレジオの養成の方向性を明確にしていくことだ」と語ります。

「教区の日」報告書より④ 熊本地区 帯山教会 司祭と信徒が力を合わせ

「教区の日2018」のミサの中で奉納された「小教区信仰活動報告書」。各地区1つの教会の報告を要約して紹介していく。今回は熊本地区、帯山教会の取組み。

帯山教会では、教区の年間テーマが知らされた1月に、主任司祭（D・マルケット神父）聖ザベリオ宣教会から「教区の日」の目標を信仰生活に取り入れ、身近な人々に神のいのちの輝きを伝えよう」との呼びかけがあり、5月の信徒総会では、同司祭が「今年度の目標は、教区の日目標に沿い、教皇様のご意向を踏まえ

ながら、『未来をみつめ、イエスの心をひろめよう』にしましょう」と話し、信徒と共に具体的な取り組みを考えた。教会の行事としては、他の教会とさほど変わらない。また、主任司祭による教理と聖書勉強会も続いている。

今回は2つの活動を紹介したい。1つは教会学校である。特に毎週日曜日のミサ後に小学生のカテキズム（洗礼・初聖体を含む）の学習と聖書に親しむ学びと分かち合いをしている。月に1度は子どもたちのためのミサ歌を歌ったり、年に数回のミサで典儀の役割を子ども達が担っている。

2つ目は、コレジオ・マリエプレジデムグループが毎週水曜日に聖体を持つ司祭に同行し訪問していることやミサに来れない病人やお年寄りを訪問していること、香部屋の掃除、手拭き、洗濯などを行っていることである。他に地区の行事への参加も欠くことがないし、小教区として、外に向けて病の司祭に励ましの手紙を書き送ったり、生活困窮者支援のために古新聞、古雑誌、アルミ缶を集めたり、「東京カリタスの家」に集めた古切手を送っている。また、西日本豪雨被害者にタオルやTシャツを集めて送るなど、主任司祭と協力して様々な活動をしている。

掲げた目標に向かって邁進中である。

マリア 平田フミカ 修道女（シオナイの幼きイエス修道会）
7月16日に帰天。享年91。

【講演会のお知らせ】 講師：来住英俊神父（御受難修道会）
場所：ザビエル聖堂 時間：14時～16時

8月10日（土） 「死の、生に対する意義」
9月28日（土） 「家族のためのキリスト教講演会」

◆申し込み不要、入場無料 ◆どうぞご参加ください

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222 (9:30～16:30)
Fax 0940-32-3385 E-メール f-mokuso@fmokusou.com

ミサ用ワイン

ヴァノ デ ミサ VINO DE MISA
スイートタイプ（赤）（白）
ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号
電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。

木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

福岡地区信徒協宣教社会部主催の学習会



葉堂氏の話に聴き入る参加者ら

6月16日(日)、大名町教会において福岡地区信徒使徒職協議会・宣教社会部主催の学習会が行われた。テーマは「長崎の山の教会・海の教会」カトリック集落と世界遺産。昨年の「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録に因る企画である。

講師は大名町教会信徒の葉堂隆三氏(下関市立大学教授・地域社会学)。遠くは熊本や佐賀からの参加もあり、70人の信者が葉堂氏の話しに聞き入った。

学習会では、なぜ長崎県が数多く存在するのか、そして、そうした集落にどのような教会が設立されたのか、が詳しい調査のもとに説明された。長崎の教会の多くは信徒の開拓移住によって作られたこと、ある地方の信徒が集団で移動し、移住先で信徒が増えて行き、民家御堂が生まれ、仮教会となり、やがて教会が出来、小教区が生まれていく過程があったこと、修道会と信徒の関係に紆余曲折があったことなど。

そのような流れは長崎だけではなく、福岡の大名町教会の巡回教会である能古島教会や佐賀県の馬渡島教会にもあった。様々な厳しい環境での信徒の移動・移住を改めて考える時間となった。

「かつて教会がどのように建てられ、その当時の信者がどのような立場で信仰を築いたか考えさせられた。開拓移住など並々ならぬ苦勞がまさに信仰心と繋がったのだらう」などの感想が聞かれた。(報告)大名町教会 佐田一兵

楽しく学び、交わる二日間



佐賀教会 天草巡礼キャンプ

佐賀教会では7月14日(日)の朝から15日(月・祝)の夕方にかけて、毎年恒例の教会学校の天草巡礼キャンプを行なった。天草出身の主任司祭・下町豊重神父の特別ガイド付きだ。

今年の前日の大雨で例年行なっているイルカウォッチングや海水浴ができなくなるの... 報告)佐賀教会 秋吉淳一

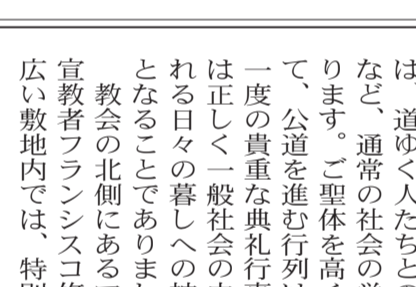
召命促進チームの発足に協力を

大山悟神父(福岡カトリック神学院)が「召命促進チーム」発足のための協力を呼びかけている。チームは教区や修道会の召命担当者、召命のために活動し祈っている種々の会の人々が、各々の独自性を維持しつつ召命促進のために協力することを目的としている。

福岡市内で教派を超えた交わり、近隣の教会コンサートに

6月16日(日)、日本キリスト教会・福岡城南教会(福岡市中央区御所ヶ谷)で行われたコンサートに浄水通教会の聖歌隊が出演した。2つの教会は歩いて5分もかからないほどの近距離にある。この交流のきっかけは、福岡城南教会の牧師、澤正幸師が浄水通教会を訪れたことだ。ミサを見学したり、茶話会に参加したりもした。それに応え、当時、浄水通教会の主任だった寺浜亮司神父も福岡城南教会を訪問。交流が続いた。

ヨハネ13章の「あなたがたも互いに愛し合いなさい。互いに愛し合うならば、それによってあなたがたが私の弟子であることを、皆が知ることになる」との言葉が澤牧師の心を動かした。「クリスチャンの少ない日本社会のなかで、仲良くできる仲間がいるのに、何かできないものか...。また、共に社会に福音を届けることができないうか」と教会員に「コンサートの開催目的」を問いかけた。



福岡城南教会の礼拝堂で共に歌を捧げる

「主に賛美を捧げることは祈りです。今回、共に福音を届けるために集うことで、私たちが祝福され、互いに祝福されたと感じます」と澤牧師は語る。浄水通教会聖歌隊のメンバーも「教会の分裂が現在の日本の私たちにも影響を与えていることは確かですが、今回のこのような交流が、少しでもキリスト教の一致に貢献できればと、澤牧師と思いを一つにしました」と話す。

島崎教会では、6月23日(日) 聖体の主日(ミサの後) 神が準備してくださった、さわやかな青空の下で聖体行列を行い、神の救いの御業を讃美いたしました。市内各地より修道女、信徒約1500人が参加しました。

母国・香港のデモに寄せて

光丘教会 杉淑盾

6月、私の母国・香港で「逃亡犯条例」改正案審議を巡り、大規模抗議デモが起こりました。多くのカトリック信者がデモに参加し、香港の教会指導者も共に留まり、夜を徹して祈りを捧げました。

30年前、天安門事件の時も、香港で大規模デモがありました。大学生だった私も、大型台風の中で参加しました。強風に吹き飛ばされた人々と手をつないで、一日中歩いたことを思い出します。今回も香港にいたならば、私も200万人の一人になっていたに違いないと思います。想像してみてください。人々が手を握り、心を一つにする瞬間。



自由席
◆原稿は400字程度
◆投稿先:福岡カトリック司教館
FAX 092・523・2152
メール:cfp-kohou@nifty.com
皆さんの声をお待ちしております。

映画のご案内

「存在のない子どもたち」

わずか12歳の少年が両親を相手に裁判を起こす。訴えの内容は「僕を産んだ罪」。中東の貧困と移民の問題に切り込んだ作品。子どもたちの「愛される権利」はどこに。KBCシネマ(福岡市)で8月30日より

日々の暮らしへの神の祝福

島崎教会 高木光行

島崎教会では、6月23日(日) 聖体の主日(ミサの後) 神が準備してくださった、さわやかな青空の下で聖体行列を行い、神の救いの御業を讃美いたしました。市内各地より修道女、信徒約1500人が参加しました。

八月六日の朝

ぼくは十四歳だった

原爆炸裂の瞬間、大やけどを負い死線をさまよった軍国少年は、不思議な外国人により「奇跡的」な回復をうけた。そして今生かされていく者と、そして司祭となった少年は、無残にも命を奪われた人々の鎮魂と、核廃絶・世界平和のために祈り続けている。これは、ヒロシマの少年Tの体験記である。



長谷川儀著

不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください

株)ジャパン・スマイルか

代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC. 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市天神山7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- R/C工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 **森山工務店**

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092)811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール
FUKUOKA

キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時30分~PM5時
日曜/AM11時~PM2時(定休日水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

年間目標 信じる喜びから 伝える喜びへ

カテドラルでのゆるしの秘跡
日時：8月3日(土)・10日(土) 10時～11時45分
9月7日(土)・21日(土) 10時～11時45分
10月5日(土)・19日(土) 10時～11時45分
場所：カトリック大名町教会小聖堂

福岡教区和田墓地 8月の開放日
◆8月の納骨堂開放日
8月13日(火) 10時～15時
8月14日(水) 10時～15時
8月15日(木) 10時～14時
追悼ミサ/納骨式 14時から
納骨堂管理委員会 ☎080・2771・6544

平和チャリティ チェロコンサート
日時：8月11日(日) 16時開演 ※募金あり
場所：カトリック小郡教会 聖堂
演奏者：九十九太一(スペイン・バルセロナ在住)
問合せ：☎0942・72・3256 小郡教会

被造物の季節始まりのミサ
日時：9月1日(日) 11時「子どもと共に捧げるミサ」
場所：カトリック鳥栖教会 聖堂
内容：教皇メッセージ紹介映像と子どもたちの奉仕によるミサ
問合せ：☎0942・82・2282 鳥栖教会

結婚講座(福岡・熊本地区)
<福岡地区>
日時：9月7日～10月5日 毎土曜日 18時半～20時半
場所：カトリック大名町教会
問合せ：☎092・741・3687
<熊本地区>
日時：9月7日～10月5日 毎土曜日 19時～21時半
場所：カトリック手取教会
問合せ：☎096・352・3030
※参加費：カップルで10,000円(カップルでの参加が原則)

キリストの教え・聖書を中心に学ぶ会
21世紀の世界を生きるキリスト者としての学び
日時：9月17日、24日(火) 14時～16時(8月お休み)
場所：カトリック大名町教会 信徒会館
講師：大山悟神父(福岡カトリック神学院)
問合せ：☎092・871・4943 大山神父

教区信徒養成部主催 聖書講座
テーマ：ヨハネ福音書を読む
日時：9月22日(日) 14時～16時(隔月第4日曜日)
場所：カトリック大名町教会 1階講堂
講師：森山信三神父(福岡コレジオ院長)
参加費：1000円 ※旧新約聖書を持参のこと
問合せ：☎080・5246・1816 島山

教区エキュメニズム部講演会 キリスト教と諸宗教
対話を交わりを通して、いかにキリストの福音の喜びを深めるか
日時：10月6日(日) 14時～16時20分
場所：カトリック大名町教会 1階講堂
講師：フランコ・ソットコルノ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合せ：☎092・741・3687 大名町教会

福岡教区広報室アドレス
http://fukuoka.catholic.jp
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

9月号は休刊です。
夏の行事、休暇でキリストと
出会い直し、伝える喜びへ。(C)
編集後記
セントポール FUKUOKA
は8月13日(火)～17日(土)
までお休みします。

案内板 会合と催し 8・9月のこよみ

福岡黙想の家のご案内 8・9月
8月 1日(木)～2日(金) 福岡教区カトリック学校基本研修会
3日(土) ロザリオの会
7日(水)～16日(金) 長崎純心聖母会
18日(日)～24日(土) サレジオ会
9月 1日(日)～6日(金) オブレート会
7日(土) ロザリオの会
15日(日)～16日(月) 九州アシラム
21日(土)～23日(月) カノッサ在世会
28日(土)～29日(日) 聖マリア在俗会
※お電話またはメールでお問合せください。
*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX0940・32・3385
Email: f-mokuso@fmokuso.com
8月10日(土)、9月28日(土)に来往神父の講演会を開催。
詳細は本紙2面下広告をご覧ください。

真命山諸宗教対話・靈性交流センター
※祈りの集い
年間テーマ：「祈り」神秘体験～キリストによって神との出会い
日時：9月12日(木) 10時～15時
内容：「わたしはまことのぶどうの木である」(ヨハネ15・1-12)
指導者：フランコ・ソットコルノ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話・靈性交流センター
次回：10月10日(木)「わたしは...いつもあなたがたと共にいる」
☎0968・85・3100 FAX0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蛸浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

日本カトリック平和旬間 8月6日(火)～15日(木)
被造物を大切に作る世界祈願日 9月1日(日)
世界難民移住移動者の日(献金) 9月29日(日)

聖書に集う会
◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます! ◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時 ◆ホームレス支援夜回り毎月第1金曜日・調理14時・夜回り20時 ◆路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合わせ先) ☎092・431・1419
M・コース神父
◆いつくしみ深い御父を讃える集い(日時)8月7日(水)11時～13時(場所) 笹丘教会
(内容) ミサと茶話会(問合わせ先) ☎092・821・634
49森※自由献金 ぞなたでもご参加いただけます。
◆レジオマリエ福岡クリア(日時)8月11日/9月8日(日)14時～16時(場所)高宮教会(問合わせ先) ☎090・9654
◆震災のための祈りのレレ(日時)8月11日(日)ミサ8時半から/昼の祈り(テゼの祈り)13時から(場所) 小郡教会
②9月11日(水)ミサ10時から/夕の祈り(テゼの祈り)19時から(場所)箱崎教会(問合わせ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)

◆レジオマリエ福岡クリア
(日時)8月11日/9月8日(日)14時～16時(場所)高宮教会(問合わせ先) ☎090・9654
◆震災のための祈りのレレ
(日時)8月11日(日)ミサ8時半から/昼の祈り(テゼの祈り)13時から(場所) 小郡教会
②9月11日(水)ミサ10時から/夕の祈り(テゼの祈り)19時から(場所)箱崎教会(問合わせ先) ☎070・2820・9613 Br.阿部(パウロ会)
◆聖パウロ協力者会黙想会
(日時)9月8日(日)13時半～17時(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(指導) 大山聖一修道士(聖パウロ修道会)(問合わせ先) ☎092・541・3730 松山
◆福岡チエナクルム(司祭の MARIA 運動)(日時)9月13日(金)10時ミサ後(場所)高宮教会(指導)パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会)

◆聖パウロ協力者会黙想会
(日時)9月8日(日)13時半～17時(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(指導) 大山聖一修道士(聖パウロ修道会)(問合わせ先) ☎092・541・3730 松山
◆福岡チエナクルム(司祭の MARIA 運動)(日時)9月13日(金)10時ミサ後(場所)高宮教会・小聖堂(問合わせ先) ☎090・7468・3631 西田
◆第21回がん哲学外来「ぬくみカフェ」(日時)9月28日(土)14時～16時半(場所)サ

【8月】
4日(日) 年間第18主日 北九州地区「平和の集い」
5日(月) ↑ベトロ平田三郎司教(2007年)
6日(火) 主の変容 日本カトリック平和旬間(～15日)
7日(水) ↑J.P.ラベル(2004年 大神学院)
8日(木) 聖ドミニコ司祭
11日(日) 年間第19主日
12日(月) 福岡地区「平和を祈る集い」
13日(火) ↑B.クレアリー(2005年)
15日(木) 聖母の被昇天 和田墓地ミサ
18日(日) 年間第20主日 ↑ミカエル堤要吉(2002年 浄水通教会)
20日(火) ↑D.グリフィン(2001年 玉名教会)
↑L.デシャンブ(2001年 八王子教会)
↑ユスティノ三村邦明(2012年 久留米教会)
25日(日) 年間第21主日 ↑フランシスコX.堤敏雄(2011年 飯塚教会)
27日(火) 福岡地区カトリック女性の会・モニカ祭
30日(金) ↑J.ガイヤール(2007年 水巻教会)
【9月】
1日(日) 年間第22主日 被造物を大切に作る世界祈願日
5日(木) ↑H.ハンター(2010年 大江教会)
6日(金) ↑D.ギル(2008年 手取教会)
7日(土) ↑フランシスコX.牧山重光(2005年 門司港教会)
8日(日) 年間第23主日 ↑K.デバイン(2009年 人吉教会)
↑フランシスコX.山田成章(2013年 茶山教会)
10日(火) ↑J.パーク(2000年 崎津教会)
11日(水) ↑ステファノ百村等(2017年 聖パウロ修道会)
12日(木) ↑A.セトアイン(2003年 泰星学園)
14日(土) 十字架称赞
15日(日) 年間第24主日
22日(日) 年間第25主日
23日(月) ↑J.パイヨ(2004年 光丘教会)
24日(火) ↑ヨゼフ深堀敏司教(2009年 高松教区長)
29日(日) 年間第26主日 世界難民移住移動者の日(献金)

◆美野島司牧センター
あなたの勇気が路上の命を支えます! ◆ホームレスの方に手作りのお昼ごはん 毎週火曜日10時 ◆ホームレス支援夜回り毎月第1金曜日・調理14時・夜回り20時 ◆路上からアパートに入居した方を訪問第3土曜日13時(問合わせ先) ☎092・431・1419
M・コース神父
◆いつくしみ深い御父を讃える集い(日時)8月7日(水)11時～13時(場所) 笹丘教会
(内容) ミサと茶話会(問合わせ先) ☎092・821・634
49森※自由献金 ぞなたでもご参加いただけます。
◆レジオマリエ福岡クリア(日時)8月11日/9月8日(日)14時～16時(場所)高宮教会(問合わせ先) ☎090・9654

◆聖パウロ協力者会黙想会
(日時)9月8日(日)13時半～17時(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(指導) 大山聖一修道士(聖パウロ修道会)(問合わせ先) ☎092・541・3730 松山
◆福岡チエナクルム(司祭の MARIA 運動)(日時)9月13日(金)10時ミサ後(場所)高宮教会(指導)パウロ神父(カプチン・フランシスコ修道会)

◆聖パウロ協力者会黙想会
(日時)9月8日(日)13時半～17時(場所) 聖パウロ修道会福岡修道院(指導) 大山聖一修道士(聖パウロ修道会)(問合わせ先) ☎092・541・3730 松山
◆福岡チエナクルム(司祭の MARIA 運動)(日時)9月13日(金)10時ミサ後(場所)高宮教会・小聖堂(問合わせ先) ☎090・7468・3631 西田
◆第21回がん哲学外来「ぬくみカフェ」(日時)9月28日(土)14時～16時半(場所)サ

◆北九州
◆小倉祈りの集い
(日時)8月23日/9月27日(金)13時半～15時(場所)小倉教会信徒会館2階(問合わせ先) ☎090・3985・520
9松田
◆北九州召命を共に祈る会
(日時)9月12日(木)14時から(場所)小倉教会(問合わせ先) ☎0949・24・9905 藤井
お詫びと訂正
福岡教区報2019年7月号の2面、会計報告の本文内でカテドラル献金が「1千5万4951円」とありますが、正しくは「105万4951円」です。
謹んでお詫びし、訂正申し上げます。

メモリードホール
人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホール
薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚
市民葬儀・法事相談センター
六本松店・赤坂店 福岡メモリード 検索
0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
医科・歯科臨床研修指定病院 総合周産期医療センター
地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
救命救急センター 地域災害拠点病院
一緒に働きませんか?
=募集=
医師・看護師・医療技術職
〒830-8543
福岡県久留米市津福本町422
TEL0942-35-3322(代表)
FAX0942-34-3115
http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整形外科
受付時間
平日: 9:30～12:00
14:30～20:00
土曜: 9:30～15:00
休診: 日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南 1-7-12-2F
TEL 092-884-0134
ペトロ 生熊吉古

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ!
http://www.paulus.jp
パウルスショップ
メディアによる福音宣教のために...
サンパウロ福岡宣教センター
10:00～18:00(月～土)/日・祝日休業/地下鉄赤坂駅より徒歩3分*駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930